

地域課題の把握等に対する取組

資料1

①、②の2つの会議体から昭島市の地域課題を把握

① 個別地域ケア会議【資料3】

5つの地域で**要支援・要介護者の支援ケースを中心に**何が地域課題になっているかを話し合い、把握する

※第7期策定時から行っている方法

② 地域連絡会【資料2】

5つの地域で**要介護認定を受けていない人を中心に**何が地域課題になっているかを話し合い、把握する

☆介護事業所、自治会、民間事業者、医療、福祉、民生委員など
様々な団体が参加します

※令和2年から新たに設定した方法

幹事会（取りまとめ）

地域ケア推進会議

各分野の専門家等で課題について
話し合い、精査する

介護保険推進協議会

各分野の専門家等で課題をどのように
介護保険計画に組み込むか話し合う

2つの会議から抽出されている課題

【①個別地域ケア会議】大分類（課題） （詳細は資料3）	意見数
① 認知症関連	17
② 移送関連	3
③ 活動の場の充実	6
④ ボランティア関連	3
⑤ 多職種関連	1
⑥ 孤立関連	2
⑦ 介護者支援関連	8
⑧ 医療関連	13
⑨ 生活困窮・権利擁護	4
⑩ その他	4



第8期現状分析

第9期課題把握

【②地域連絡会】課題別分類 （詳細は資料2）	意見数
1. 認知症関連	9
2. 移送関連	9
3. 活動の場の充実	11
4. 地域における見守りの 仕組みづくり	30
5. 相談窓口の充実	23
6. 多職種連携の仕組みの構築	1
7. その他、新たな課題	29

第8期における現状分析（中間）

【地域連絡会】

「4.見守りの仕組み」、**「5.相談窓口の充実」**の内容が多い。（資料2 参照）

【個別地域ケア会議】

「①認知症関連」、**「②介護者支援関連」**、**「③医療関連」**が多い。（資料3 参照）

(1)「4.見守りの仕組み」と**「①認知症関連」**から

認知症を原因として、近隣で心配に感じる高齢者はいるが、自治会など既存の関係性が薄れているなか、個人情報配慮から、声かけが難しいという意見が多くあった。

⇒住民主体サービスや認知症サポーターの活躍の場の創出に取り組む必要性が高い

(2)「5.相談窓口の充実」、**「②介護者支援関連」**、**「③医療関連」**から

地域包括支援センターの認知度の低さや福祉なんでも相談窓口の創設の意見が多くあった。

⇒今後も地域包括支援センターの認知度向上、分野横断的な連携強化に取り組む必要性が高い

第9期に向けた課題把握(中間)

◎ 第8期計画の課題から

主に第8期計画に掲げる「1. 認知症関連」、「4.見守りの仕組み」、「5.相談窓口の充実」の内容が多く挙げられ、今後も継続した取り組みが特に必要と考えられる。また、個別地域ケア会議から介護者支援が挙げられていることから、高齢者本人のみならず家族等の介護者向けの支援がより求められている。

◎ 多く挙げられた「新たな課題」

第8期中の課題のほか、地域連絡会(資料2 参照)では「**高齢者へのデジタル支援**」が多く挙げられ、インターネットを利用した情報収集やオンラインでの手続きや買い物など、高齢者が有益なサービスを利用しづらいという声が多かった。